

## 一般質問 町政を問う6人が登壇！

**丸山 康夫** 議員 ——— 11P

- ◆新町長に問う  
～宇美町を変えるために  
何にどう取り組むのか～

**入江 政行** 議員 ——— 12P

- ◆インボイス導入による  
小規模事業者への影響は
- ◆新町長に今後の  
町政への取組を問う

**鳴海 圭矢** 議員 ——— 13P

- ◆水道料金の引き下げを
- ◆土砂崩れ等自然災害への対応は
- ◆投票率の低下にどう取り組むのか

**黒川 悟** 議員 ——— 14P

- ◆次の100年に向けた  
活力あるまちづくりの現実を
- ◆公共施設のトイレおよび  
学校トイレの洋式化の現状は

**安川 禎幸** 議員 ——— 15P

- ◆原田小学校、宇美南中学校に  
係る「小中一貫校」の提案

**高橋 紳章** 議員 ——— 16P

- ◆新リーダーとしての  
町長の意見を伺いたい

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

### 宇美公園の桜のトンネル

宇美公園へ向かう道路には両側に桜並木があり、見事な桜のトンネルができていました。



丸山 康夫 議員

# 新町長に問う

## ～宇美町を変えるために 何にどう取り組むのか～

**答** 役場の組織体制を早急に見直し対処する

**問** 安川新町長が掲げている政策を具体的に進めていくための方策を問いたい。

若い子育て世帯の流入促進に向けて、児童生徒の学力を向上させていくための具体的な政策は。

**答** 学校教育課長

学校教育課内や各学校の学力向上コーディネートセンターを中心に、テスト結果を基に分析を行うとともに、授業の改善を進め、学力の向上に努めていきたい。

**問** 令和3年3月に宇美町スポーツ振興計画が策定された。

今後、部活動改革も進めていく必要があるが、具体的な政策は。

**答** 学校教育課長

部活動が教職員の大きな負担になっていることから、休日の部活動を地域に移行していくことや外部指導者の導入により教職員の負担を減らしていきたい。

**問** 待機児童ゼロを継続していくための具体的政策は。

**答** こどもみらい課長

今後、貴船保育園と柳原ぶらす保育園の建て替えが予定されており、現定員以上の受け入れができるよう面積を確保し、弾力的な受け入れができるよう協議を進める。

また、町立保育園の保育士を確保するために、大学や専門学校への新人保育士募集の強化をはじめ、潜在保育士を確保するためにハローワークや広報・SNS等による求人募集に力を入れていきたい。

また、保育士の処遇改善を進めており、働きやすい職場環境の構築にも努めていく。

**問** 子どもを産み育てやすい町「うみ」の実現に向けての具体策は。

**答** 町長 次代を担う子どもたちの教育が他の自治体に遅れを取っては

いけない。

教育費はしっかり確保しなければならないと考えている。

**問** 子どもたちの熱中症対策とともに、災害時の避難所に指定されている小学校体育館にエアコン整備が必要ではないか。

**答** 学校教育課長

学校体育館へのエアコン設置はまだ検討していないが、体育館は災害時の避難所にも指定されており、エアコンやそれに類する設備を整備することも検討、調査研究を進める。

**問** 当町の道路事情は10年前とほとんど変わっていない。

道路整備を進める政策は、町長のビジョンでも重要な部分だと思

うが、具体的な政策は。

**答** 町長 当町は博多

駅や福岡空港、太宰府インターからも近いが、交通渋滞により地の利を

生かし切れていない。渋滞の解消に向けて、道路整備を進めることが大切だ。

職員だけでなく、私自身が県知事や県議会議員等に働きかけることも大切だと考える。

スマートインターチェンジの設置についても、実現に向けて全力でチャレンジしたい。

役場の組織体制を早急に見直し、課題解決への道筋を示したい。



整備が完了した宇美西口交差点



入江 政行 議員

# インボイス導入による 小規模事業者への影響は

**答** 事業者に対する影響は  
ゼロではない

**問** 2023年10月から「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入される予定。

基準期間の課税売上高が1000万円以下であれば消費税の納税は免除されているが、インボイス制度の登録事業者になれば、売上高に関わらず納税義務が発生する。

インボイスの導入により、免税事業者との取引がなされないことが発生し、個人タクシー、一人親方、フリーランス等の事業者に多大な影響を及ぼすが、対策は考えているか。

**答** まちづくり課長  
インボイスの導入により、事業者に対する影響はゼロではないと思っております。  
制度導入に伴い、インボイスの発行に係る事務負担が増えるのではないかと。また、免税事業者が取引から排除されるのではないかと懸念の声もある。

インボイスの導入までに4年間の準備期間を設け、経過措置や、みなし税率を適用できる簡易課税制度が設けられている。

事業者の皆様には、制度を理解していただき、取引先との調整検討の上、登録を受けるか否かの判断をしていただく必要がある。

**問** 当町の経済、社会の支えとなってきた小規模事業者が、インボイス導入の影響により経営が立ち行かなくなり減少し、経済の疲弊に繋がることがあるか。

**答** まちづくり課長  
現段階において、インボイスの導入により町内の経済や事業者の方々への程度影響を及ぼすかというのは未知数であり、事業者はこの制度を理解していただくことが必要である。  
制度周知を図るとともに、税務署等の相談窓口を案内していくように

考えている。

**問** 全国的にインボイスの導入に中止の声が広がってきている。

町村長会において、他の自治体呼びかけで、中止する旨の要望書・意見書を提出してはどうか。

**答** 町長 事業者にこの制度を理解していただくことが重要だと考える。

町内での影響、他市町村での動向等を確認して対応していく。

.....  
**新町長に今後の町政への取組を問う。**

**問** 当町は、人口減少、高齢化が進んでいると言われている。

町民の方々から、たくさん意見や要望が

でているが、どう取り組むのか。

**答** 町長 今議会です、新しいまちづくりとして、5つのビジョンを掲げている。課題解決に向けて可能性を探りながら、スピード感をもって取り組んでいく。

インボイス制度とは  
適格請求書保存方式のことで、所定の記載要件を満たした、請求書等が適格請求書（インボイス）となり、インボイスの発行または保存により消費税の仕入税額控除を受けることが可能となる。  
消費税の課税事業者であり、適格請求書事業者に登録した事業者がインボイスを発行できる。



国税庁  
ホームページ  
インボイス制度の概要

# 水道料金の引き下げを



鳴海 圭矢 議員

## 答 福岡地区全体の見直しが必要

**問** 宇美町の水道料金は近隣の自治体と比較しても非常に高い。その理由は。

**答** 上下水道課長  
福岡地区水道企業団（以下「企業団」という）からの供給水量の問題もあるが、上下水道管路延長が郡内でも一番長いことや浄水場、配水池の施設更新や修繕等の維持管理に多額の費用を要することも要因の一つと考える。

**問** 自己水源を活用しながら、企業団との契約を今の実態に則した形に見直すべきではないか。

**答** 上下水道課長  
自己水源は今後改修すべきものや水質、水量に問題があり使用を控えている箇所もあることから、企業団からの受水分と自己水源を調整しながら運営していく必要がある。  
協定内容の見直しについては要望・協議を

行ってきた経緯もあるが、一水道事業体のみでは難しく、福岡地区全体の見直しが必要。

**問** 上下水道特別会計で出た利益は町民に還元するべきでは。

**答** 上下水道課長  
将来にわたる健全な運営に内部留保の確保は必要であり利益が出ているから即還元できるものではない。

**問** 一般会計からの繰り入れも視野に水道料金の引き下げを検討するべきでは。

**答** 上下水道課長  
地方公営企業の規定により一般会計から繰り入れできる経費として、料金引き下げのための繰り入れは該当しないと判断している。

土砂崩れ等自然災害への対応は。

**問** ひばりが丘の土砂崩れについて町からの説明がない、情報が遅い等の強い不満があった。改善するべきではないか。

**答** 都市整備課長  
不確定な情報は発信できないと消極的な姿勢になり、その点は十分反省している。今後は延期していた住民説明会を行うとともに、定期的に復旧工事の進捗を発信していきたい。

**問** 今後、梅雨の時期に入るが被害の拡大する危険性はないか。対策は。

**答** 都市整備課長  
地下水対策として横ボーリングを7本既に設置している。  
今後の梅雨に備えて可能な限り横ボーリングを設置していく。  
道路のり面の動態観測業務を業者に委託して水位の変化を注視していく。

**問** ひばりが丘1丁目にある道を道路が塞がれた場合等、緊急時に開放できないか。

**答** 都市整備課長  
ひばりが丘1丁目と桜丘4丁目を接続する道は通行しないという約束を、昭和56年ごろ桜丘南町内会と開発業者が交わしているが、志免町を通じて協議していきたい。



ひばりが丘の土砂崩れ

投票率の低下にどう取り組むのか。

# 次の100年に向けた 活力あるまちづくりの 実現を



黒川 悟 議員

**答** 町民の意見に耳を傾け、  
職員と力を合わせて進めて  
いきたい



塔ノ尾公園の  
イルミネーション

**問** 行政提案型共同事業の状況は。

**答** まちづくり課長  
コロナ禍により、地域活動や団体活動が停滞する中、令和3年度は、「コロナに負けんばい！元気うみ創造プロジェクト」と題し、10事業を募集、結果5事業の採択がされた。

令和4年度については、募集数20を超える団体から応募があり、今後プレゼンテーションを実施し、共働のまちづくり推進委員会にて、審査を行い、町民の皆様と共働して事業実施に努め、町に元気を取り戻したいと考えている。

**問** 子育ての町を推進するための、キッズパーク構想の再燃の考えは。

**答** まちづくり課長  
当初の提案された形での実施は考えていない。しかし、子育て世代からは、近隣市町にあるような安心して親子が集える公園設置を望む声が多い。

今後、場所や規模、財源等を含めて、第7次宇美町総合計画と整合を取り、関係各課と新たな形で検討を進める。

**問** 「宇美町中心市街地賑わいづくりに向けた提言」をもとにした今後の計画は。

**答** まちづくり課長  
この提言は、8つのプロジェクトから、とても夢のある構成となっている。しかし、全プロジェクトを実現するには莫大な費用が必要であり、実現可能なものから提言を参考にしながら今後、取り組んでいく。

一例として、宇美駅前広場の利活用で、給排水設備等を整備し、

商工会で取り組んでいるイルミネーション事業やうみカフェ、JR九州ウォーキング等のイベントに合わせて、キッチンカーなどの配置ができるよう環境整備することで、にぎわいの創出に繋げることができればと思う。

加えて、宇美駅については、来年2月実証運行予定のオンデマンドバスの拠点施設としても想定しており、駅舎を含め、JR九州とも継続して協議を進めていきたい。

**問** 新執行部となり、宮崎県都農町との友好関係および宇美町人会の今後は。

**答** 町長 都農町とは、100周年をきっかけに、蹴鞠クラブや特産品のコラボ、商工会との事業間交流も深まった。また、都農町のふるさと

応援寄附金は先進的で、学ばなければならないと思う。

町人会は会員の皆さまが一堂に会し、ふるさと宇美を懐かしく語り合う有意義な場所であり、今後も絆を大切に、繋がりを深めていきたい。

**問** 次の100年に向けたまちづくりの決意は。

**答** 町長 まちづくりイコール地方自治であり、町の現状を把握し、町民の意見に耳を傾け、顕在化したニーズに布石を打つことが重要だ。山積する課題解決のためにも、職員と知恵を出し合い、率直な意見交換ができるように努めたい。

.....  
**公共施設のトイレおよび学校トイレの洋式化の現状は。**



安川 禎幸 議員

# 原田小学校、宇美南中学校に係る「小中一貫校」の提案

## 答 将来に向けて調査研究を行う

**問** 2019年に策定された宇美町公共施設再配置計画で示されたロードマップによれば「宇美南中学校は生徒数の減少により2027年に廃止を視野に検討する」となっている。公共施設再配置計画の趣旨、ロードマップの意味、計画の見直しの状況は。

**答** 管財課長  
計画の趣旨は、公共施設を中長期的な視野に立ち総合的・計画的な管理を行い、将来の財政負担の軽減と平準化を図るもの。  
ロードマップは、計画の行程を示すもので、宇美南中の廃止時期は2027年となっているが、基本的な方向性を示したもので廃止が確定しているものではない。  
コロナ等の社会情勢や生徒数の状況を踏まえてこのまま計画を押し進めるのは適切ではないと判断しており、計画の見直しを検討している。

**問** 原田小学校、宇美南中学校の最新の生徒数の推計は。

**答** 学校教育課長  
再配置計画策定時と最新のデータで比較すると、減少率は原田小学校では25%から21%へ、宇美南中学校では25%から11%へと変わっており、いずれも計画策定時より減少率が縮小している。

**問** 令和3年より開始された「宇美町の教育の未来を考える懇談会」の趣旨、開催状況は。

**答** 学校教育課長  
町全体の学校施設の在り方や有効活用について意見を頂く会議。  
昨年12月に開催したが、以降コロナの影響でアンケート形式で行っている。今後とも保護者、地域の方々より意見を聴取したい。

**問** 宇美南中学校は原田小学校の生徒がそのまま持ち上がり、コミュニ

ニティスクールで連携した活動を行っている。両校とも総合スポーツ公園や寺浦グラウンド等と隣接しており環境に恵まれている。

**答** 双方勘案して将来の人口減少の折には、原田小学校と宇美南中学校を連結して小中一貫校、あるいは義務教育学校としてはどうかという提案を行う。

**問** 小中一貫校、義務教育学校の趣旨、設置状況は。

**答** 学校教育課長  
小中一貫校は小学校と中学校の連携がしっかりとされたもので、それぞれに校長、教職員が在籍する。  
義務教育学校は小中の9年間を通して教育を行うもので校長は一人、教職員の組織も一つとなる。県内では小中一貫校は15校、義務教育学校は5校となっている。

**問** 小中一貫校、義務教育学校についての考



宇美南中学校

えは。

**答** 学校教育課長  
選択肢としては考えられる。今後、調査研究を行う。

**問** 今後の当町の学校施設の基本的な考えは。

**答** 教育長  
地域のコミュニティ形成として果たしてきた学校の役割を再検討していきたい。  
宇美南中学校の今後についても、保護者、地域住民、教師等でしっかり協議を進めていくことが重要である。



高橋 紳章 議員

# 新リーダーとしての町長の意見を伺いたい

**答** 5つのビジョンを掲げてまちづくりに取り組む

**問** ひばりが丘2丁目付近のり面災害復旧工事の進捗状況は。

**答** 都市整備課長

ひばりが丘2丁目町道竹ヶ下～桜ヶ丘線のり面災害は令和3年10月25日に宇美町土木組合に応急復旧工事を依頼し片側通行となる。同年11月10日から12日に国の災害査定を受け、年明けから地下水対策工事を竣工し災害復旧工事に着手。

大雨、台風等の特別な事情がない限り令和5年4月全面開通の予定。

**問** 都市計画道路志免宇美線の延長工事に伴う地域の浸水対策は。

**答** 都市整備課長

浸水問題は、地域住民や地元自治会から早急な対策を強く求められている。

現時点で大雨が予測される場合は、早めの農業用水路のルート切り替えにより平成地区の

水路の負担を軽減するなどの対策を取っている。

今後は都市計画道路志免宇美線事業で、浸水対策は解決できないが、水路の負担を軽減する対策を福岡県と協議する。

平成地区においては有効な浸水対策を別途検討する。

**問** 子育ての世代が安心して遊べる子ども公園の整備の考えは。

**答** 都市整備課長

町内には大小様々な公園や広場が94ヶ所あるが、地域住民からは利用しづらい、魅力がない、利用者が少ないなどの声がある。

コロナ禍により生活様式の変化や子育て世代や高齢者の住民のニーズを反映した魅力ある公園づくりが必要である。そのためには、今ある資源を有効活用しながら魅力ある公園づくりをめざして整備していきたいと考えている。

**問** 宮崎県都農町との今後の交流は。

**答** 総務課長 都農町

とは平成29年から交流が始まり5年が経過した。その発端は同じ年に町制100周年を迎えるということで町の商工会青年部を通じての交流が始まり、令和2年2月には宇美町で蹴11グランプリが開催された。当日は、都農町の町長が来町され、友好協定の意見交換を行った。

その後は、新型コロナウイルス感染拡大等により人的交流がなかった。コロナ禍が落ち着けばまた両町間での具体的な話や情報交換等を行いながら関係を築き上げていく必要がある。



蹴-1 グランプリ(令和2年開催)

**問** 真のリーダーとしての抱負は。

**答** 町長 私は5つの

ビジョンを掲げてまちづくりに取り組むみたいと考えている。

宇美町は豊かな自然と貴重な歴史的文化がある。これを生かして子どもたちがふるさと宇美、生まれ育った宇美町、そのような思いを抱くまちづくり。

「子育てするならば美」宝である子どもたちを産み・育てるまちづくり。

人生100年時代において、安心して暮らせる保健・福祉の充実。

あらゆる災害に強い安心・安全なまちづくり。

道路・交通網の道路渋滞等に関する整備の対応。

この5つのビジョンの具体化に向けてスピード感を持っていきたいと思う。